

Economy



その3

管内経済情勢報告〈財務部〉

管内経渋は、総じて停滞感はあるものの、明るい動きが広がりつつある。

平成十一年四月、財務部では管内経済情勢を次のとおり取りまとめました。
概況

最近の管内経済情勢をみると、公共事業が過去最高の水準となつてゐるもの、住宅建設は引き続き低水準となつてゐるほか、消費は総じて底堅い動きとなつてあり、十一年度の企業の設備投資は前年度を下回る

個人消費をみると、耐久消費財では、家電製品販売、新車販売及び中古車販売が前年を上回つてゐる。主要スーパー、百貨店の売上げは前年を下回つてゐるもの、コンビニエンストアの売上げは前年を上回つてゐる。このように個人消費は総じて底堅い動きとなつていて、

観光についてみると、観光入込客は、パッケージツアー等旅行商品の低価格化のほか、新規航空路線の開設、外国大型クルーズ船の就航等の効果もあり、引き続き高水準で推移している。

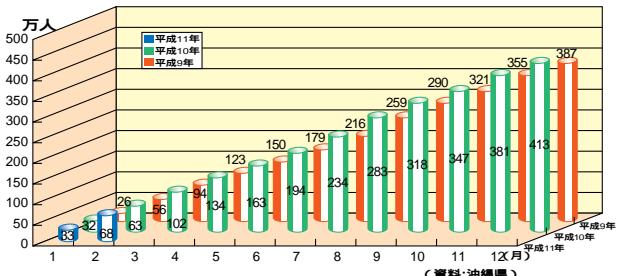
産業活動をみると、食料品は総じて低調に推移しているものの、建設関連業種では、県外出荷の増加や高水準の公共事業に支えられて、総じて堅調な動きとなつてゐる。このように、生産は、建設関連業種を中心に総じて持ち直しつつある。

このように、管内経済は、総じて停滞感はあるものの、明るい動きが広がりつつある。

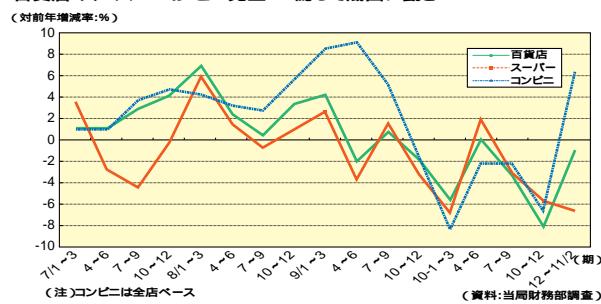
このように、管内経済は、総じて停滞感はあるものの、明るい動きがみられる。このように改善の動きが見えて、完全失業率は高水準で推移しており、依然として厳しい状況にあるものの、このところ改善の動きが見られる。

このように、管内経済は、総じて停滞感はあるものの、明るい動きがみられる。このように改善の動きが見えて、完全失業率は高水準で推移しており、依然として厳しい状況にあるものの、このところ改善の動きが見られる。

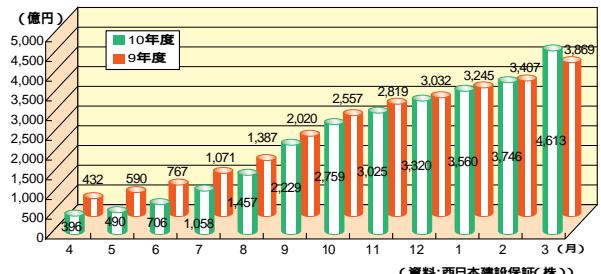
観光入込客数(累計)…引き続き高水準で推移



百貨店・スーパー・コンビニ売上…総じて底堅い動き



公共工事前払保証請負高(累計)…過去最高の水準



計画となつてゐる。

この中、産業活動では、観光は、

観光入込客が引き続き高水準で推

移しているほか、生産は、建設関連業

種を中心にして持ち直しつゝある。

十一年度上期の企業収益は、増益見

通しとなつてゐる。なお、雇用情勢を

みると、完全失業率は高水準で推移

してお

り、依然として厳しい状況に

あるものの、このところ改善の動きが

みられる。

このように、管内経済は、総じて

停滞感

はあるものの、明るい動きが

広がりつつある。

このように、管内経済は、総じて